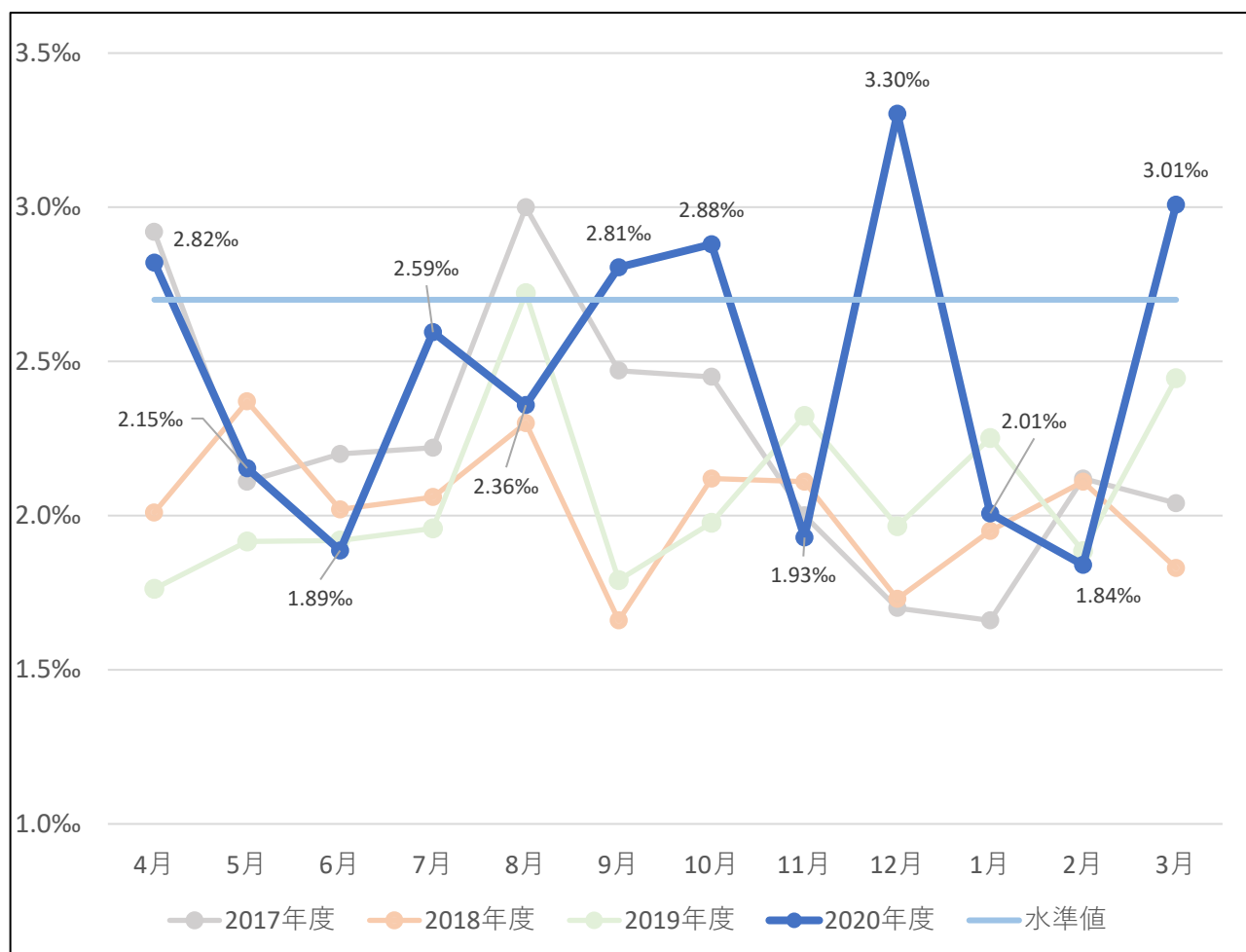


## 2.入院患者の転倒・転落発生率



分子	入院中の転倒・転落件数（インシデント報告提出件数）
分母	入院延べ患者数
水準値	2.70%（2019年度QIプロジェクト参加施設の平均値）
説明・考察	<p>[指標の意義]</p> <p>入院中は身体的状況、薬剤による影響、生活環境の変化などにより転倒・転落のリスクが高まります。転倒・転落の発生は患者の転帰に悪影響を及ぼします。転倒・転落発生率を継続的にモニタリングし、その傾向を把握することで転倒・転落予防策が有効であるか確認できます。</p> <p>[考察]</p> <p>2019年度に比べ水準値を超える月が多くなりました。年間平均発生率は2.47%で水準値を下回っておりますが、さらに転倒予防策を強化する必要があると思われます。</p>